

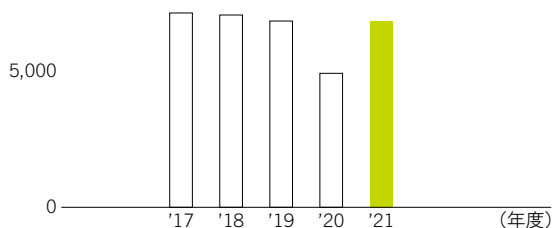
財務ハイライト

親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)

10,000

7,066 億円



ロシア・ウクライナ情勢によるマイナス影響を一定計上しましたが、連結粗利益におけるリテール・ホールセール・グローバルの3事業部門による力強い増益や政策保有株式の売却益増加等で増益となりました。

ROE (株主資本を分母にして算出)

(%)

10

7.3 %



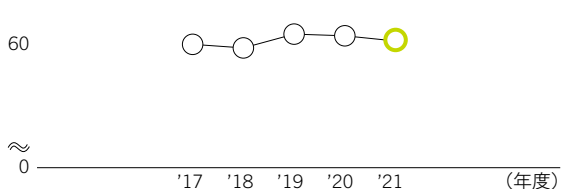
連結業務純益の増益および与信関係費用の減少、株式等損益の増加により、親会社株主に帰属する当期純利益が増加したことから、前年比で大きく改善しました。

経費率

(%)

80

61.8 %



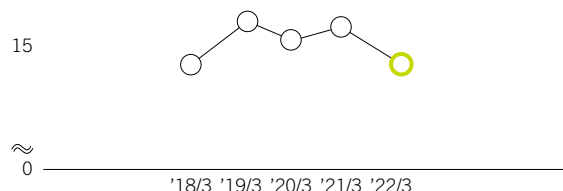
2020年度に事業経費が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少した反動による増加や円安影響があったものの、グループベースでのコストコントロールが奏功したため、前年比で改善しました。

普通株式等Tier1比率 (バーゼルⅢ完全実施基準)

(%)

20

14.5 %



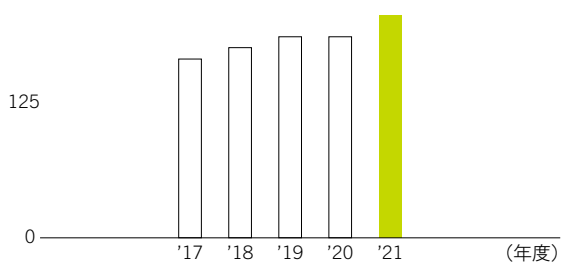
インオーガニック戦略の推進やその他有価証券評価差額金の減少により前年比で低下したものの、引き続き所要水準を大きく上回る高い水準を維持しています。

普通株式1株当たり配当金

(円)

250

210 円



中期経営計画で掲げる株主還元強化の実現に向けて、2022年度の配当予想は、10円増配の220円としました。

外部格付 (2022年6月末現在)

	持株会社		三井住友銀行	
	長期	短期	長期	短期
Moody's	A1	P-1	A1	P-1
S&P	A-	—	A	A-1
Fitch	A	F1	A	F1
格付投資情報センター (R&I)	A+	—	AA-	a-1+
日本格付研究所 (JCR)	AA-	—	AA	J-1+